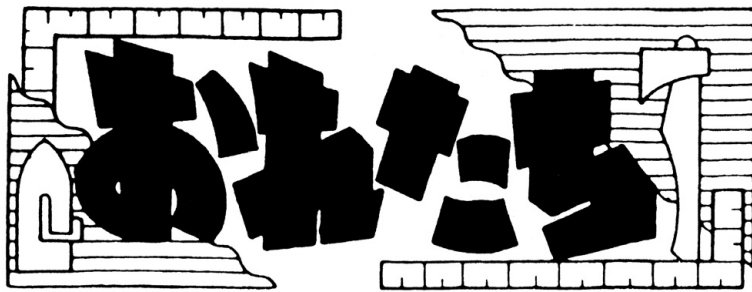


無料法律相談日の案内

10月16日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

9月初組員数=1,947人(-11人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・豊田佳二/編集長・堀井龍二
http://www.doken-arakawa.org/

戦争しないと決めた

殺し殺されるために生まれてきたわけではない

「ママは戦争しないと決めた、パパも戦争しないと決めた」「戦争立法を反対する子育て中の子供たち、またこれからの世代、高生の姿、まさに全女性の人権を凝縮した平和への叫びが、7月26日渋谷駅周辺の街々にこだました。

取材 竹達浩記者
(南千住分会)

安保法案は許さない

主催は「安保法案に反対するママの会」だ。

渋谷駅ハチ公前で7人のママによるリレー演説が始まり、異口同音に、「わたくしたちは過去の戦争の悲しみの経験はしていないが、いま安倍政権がやろうとしていることは、私たちは



日本各地で平和行進をしたと報告

あるのではようか。戦争を必要としているのはわたしたちではありません、戦後70年となるこの夏、私たちは他の誰でもない自分の声をあげます」と言って駅前演説は終わり、デモ出発地点宮下公園集合が告げ

孫のことが心配でならない
宮下公園には一人の白髪の老婦人が、強い日差しを避けて木陰に立って、手には手製の小さな戦争反対と書いたプラカードをもって



パパも子供を肩車して行進

【組織部発】秋の拡大月間における支部目標は80人です。
8月26日から拡大月間は始まっています。
戦争する国づくりが進む歴史的な転換期において平和と建設業の民主化を求め闘い、土建国保を守り、マイナンバーの中止を掲げ、地域との共同と連帯の運動を前進させる組織建設を目指して

んだことがないと、空とほける安倍総理のことだから対馬丸のことなど知るはずもないでしょう。対馬丸は日赤病院で1944年8月21日、アメリカ海軍潜水艦ボーフィン号によって撃沈されました。その船には九州長崎に疎開をする沖縄の児童を含め、1601名

「組合に相談してみたら」と声をかけてみてください。
「組合に乗っていた。沖縄に疎開をしていた私たちがその船に乗らなかったのを助かったが、戦争はもうたくさんです。今、日本には悲惨な過去の歴史が繰り返されようとしている。なぜ戦争をしたのか、なぜ人を殺したのか、なぜ大切なものを壊したのか、私には判りませぬ」と言っている。主婦は言葉をつぐんだ。デモ出発時刻となり、名前と写真をお願いしたが丁寧に断られた。

現勢回復し組織実増を 秋の拡大月間始まる

【組織部発】秋の拡大月間における支部目標は80人です。
8月26日から拡大月間は始まっています。
戦争する国づくりが進む歴史的な転換期において平和と建設業の民主化を求め闘い、土建国保を守り、マイナンバーの中止を掲げ、地域との共同と連帯の運動を前進させる組織建設を目指して

ひぐらし

昭和33年から34年にかけて、白いターバンと覆面の上に黒いサングラスと白マフラー、白の全身タイツに黒いベルトを着け、裏地に色のついた白マントをまとった正義の味方「月光仮面」が活躍するテレビ番組が人気をさらい、平均視聴率は40%、最高視聴率は67.8%を記録。放送時間には、銭湯から子どもの姿が消えたというほどだった。
▼「月光仮面」は広告代理店宣弘社が番組枠を押さえ続けるために、番組製作会社を設立して企画した日本初のフィルム製作による国産連続テレビ映画であり、日本のヒーロー番組の元祖でもある。小生は、宣弘社の小林利雄社長と同じ団体の委員をしていたという縁もあり、いろいろな苦労話などの逸話も聞いている。
▼昭和27年から29年にかけて、NHKのラジオ連続放送劇で「君の名は」という多大な人気を獲得した番組があった。「番組が始まる時間になると、銭湯の女湯から人が消える」と言われるほどであったという。ラジオの人気を受けて映画化もされ大ヒットを記録し、主役のストールの巻き方が「真知子巻き」と呼ばれて女性の間では流行した。
▼現在、安倍政権とその与党は選挙時の人気はどこ吹く風の体で、老若男女問わず支持母体も非難し、支持率低下の大炎上だ。(虎)

核兵器のない平和で 公正な世界を求めて

広島・長崎で原水爆禁止世界大会を開催

今年、被爆70年の節目の年だ。広島で8月4日～6日、長崎で7日～9日と両方の地域で原水爆禁止世界大会が行われた。今回、荒川支部は2人の代表を派遣し、長崎大会に参加した。長崎大会は東京から新幹線バスを乗り継ぎ約7時間かけて会場に向かった。参加者に原水爆禁止世界大会の感想を伺った。

戦争法案反対が 多数の声



日暮里1分会
日暮里一平さん

博多から日本旅行の高田さん(63歳)が添乗員として乗車し、広島大会での出



日本各地で平和行進をしたと報告

本人は37歳の時に初めて被爆二世である事を知らされた。現在は仕事をしながら、合唱の指揮者や演奏をしています。「長崎のつどい」は、5

000人の参加で、二部の、合唱組曲「平和の旅」は大変心に残りました。渡辺千恵子さん(当時16歳)は、三菱電機に学童動員で勤務中に被爆し、足や腰の肉が腐り骨が見えるほどでしたが、お母さんが削り取ったりして治療してくれました。原爆投下10年後に第一回原水禁大会が広島で開かれ、翌年第二回長崎大会が開かれる時、渡辺さんに語り部の依頼があり、固辞していましたが、母親に背中を押され、大会で発言しました。32年目に車椅子で参加し、平和の旅として語り部をしました。今大会の発言は、分科会や閉会総会の参加者・被爆者も含め「戦争法案」を廃案にと言う声が多数ありました。

悲しませない の第一歩



荒川分会
浅野由樹さん

長崎大会に参加し、初日



平和公園にはたくさんの折り鶴

はいろいろな話を聞きました。被爆者の方や核兵器の話など「長い」と思っていました。2日目は佐世保基地を見学し、船に乗って戦艦を7～8隻見ました。船を作っている工場があるといえ海が汚れていることに驚きました。戦時中は違う意味で汚れていたと思うと鳥肌と手汗が出ました。

核兵器は いらない



書記局
橋本佐世さん

最終日は町中に大きな音が響き渡り、時計を見ると11時2分の原爆投下された時間で黙祷をしました。最後に平和記念公園に行き近くの資料館にも行きましました。資料館で見たものはあまりにも生々しく無残な形で展示されていました。衣類や写真、絵などそれぞれのもので「恐ろしい」と思いました。

最後に長崎大会に参加して感じたことは、人を殺める道具を作らなければ悲劇はなかったんだらうなと思えました。正直言うと戦争が何なのかわかりません。ですが、戦争の体験者の話や資料館に行くことで、悲しんでいる人たちが沢山いるんだと感じることができ

現地に着くとすぐに大会が始まり、各地域、世界の人々からのメッセージや核兵器の被害などを聞き、改めて「核兵器はいらない」と感じました。大会にはたくさんの方がいて、こんなにも平和を訴えているのになぜ今戦争法案が必要だと安倍首相がいうのか私には理解できません。特に心に残ったのは被爆者の谷口さんが16歳の時に原爆の被害にあった時の話です。郵便配達をしていた時に原爆に襲われ、一瞬で暮らした健康を奪われたとい

荒川探訪

石濱神社

取材・根本武義



堂々と神社の名前が

「東都歳時記」の挿絵に夏の風物詩として紹介されまして。

南千住駅から徒歩15分、隅田川にかかる白鬚橋のたもとにあります。白ひげ西地区再開発事業により昭和63年9月に

現在地に遷座しました。石濱神社は聖武天皇の時代の神亀元年(724年)に創建され1291年の歴史があります。



変わったデザインの本堂

江戸時代には「石濱神明神社」と呼ばれて、夏越しの大祓はその壮麗さに天保9年(1863年)の

隅田河畔の名所として江戸庶民の信仰が厚かったそうです。江戸中期からは参拝する人が多くなり宝暦7年の頃には吉原豆腐で作った田楽を売る川口屋などの茶屋が立ち並んで大いに繁盛した。

原爆の被害を伝える

原爆と人間展を開催

会場には、第五福竜丸の水爆実験での被害、爆風や放射能などの原爆の威力についての解説のパネルや被爆者の被爆直後の写真など約30点が展示



展示パネルを見る来場者

た...」とその時の状況が生々しく記してあり、原爆の恐ろしさを感じ

【西尾久・小野澤富彦記】8月3日から9日まで荒川区町屋文化センター2階ふれあい広場で「原爆と人間展」が開催された。原爆の被害を伝えるために荒川原水協が行っている。来場者は400人を超えて、署名も95人集まった。私はその中でも第五福竜丸の写真パネルが目にとまった。「操業中の漁船第五福竜丸はアメリカの水爆実験により被爆し死の灰を浴びる。海底から全体を持ち上げるような轟音が突き上げ、入道雲を3つ4つ重ねたような雲が空をついて

たくさん仲間が参加し 子ども向け企画も好評

後継者対策主催バーベキュー親睦会

【後継者対策部発】8月23日(日)に足立区の舎人公園で後継者対策部主催のバーベキュー親睦会を行いました。
青年・子育て世代の組合員と家族を組合に近づけ、組合活動の理解と参加を目的として行いました。
当日の天気は曇りで夏にしては過ごしやすい気候でした。



子供向け企画が好評でした

参加は20世帯で大人26人、子ども19人の合計45人でおこないました。美味しい肉と野菜でバーベキューを行い、子ども向けの企画も行いました。

子ども向け企画として、輪投げとくじ引き、お菓子のつかみ取りを用



77

1945年9月、佐世保から長崎に入った私は、小高い丘から下を眺めていました。10歳ぐらいの少年が歩いているの

が目にとまりました。おんぶ紐をたすき掛けに背中に幼児を背負っています。この焼き場に来た強い意志が感じられました。しかも少年は裸足で焼き場のふちに5分から10分立っていたのでしゅうか。おもむろに白いマスクをした男たちが少年に近づきゆっくりとおんぶ紐解き始めました。このとき私は、背中の幼児が死んでいるのに気が付きました。幼い肉体が火に溶け、ジュウと音がしました。まばゆい炎が舞

い上がり、直立不動のあどけない顔を夕陽のように照らしました。炎を食い入るように見つめる少年の唇には、血がにじんでいました。あまりにもきつく唇を噛みしめているので唇の血は流れず下唇を赤く染めた。炎がおさまると、少年はくると首を返し、沈黙のまま焼き場を去っていきま

【厚生文化部発】8月21日(金)に支部事務所3階で共済推進委員学習会を行いました。
司会を津田副部長にお願

共済の魅力进行学习 制度を知ってもらう活動を

【厚生文化部発】8月21日(金)に支部事務所3階で共済推進委員学習会を行いました。
司会を津田副部長にお願



野菜もいっぱい食べました

【国保担当発】2015(平成27)年10月からみなさんひとりひとりに

**個人番号
(マイナンバー)
通知カード
が届きます**

12桁の個人番号(マイナンバー)を記載した通知カードが市区町村から届きます。
2016(平成28)年1月以降は保険証や給付金の手続きだけでなく税金申告などにも個人番号が必要になりますので、みなさんように大切に保管してください。
個人番号は市区町村から住民票の住所へ通知されます。住民票の通知と異なるところにお住まいの方は、市区町村窓口で

荒川文藝倶楽部 仲間の短歌・俳句・川柳

【編集部】仲間の文芸作品を披露する場を常時設け、可能な限り紹介していきます。随時、奮って編集部へ連絡を頂き投稿下さい。尚、一回につき一人一作品掲載。

(川柳)
メダルより 銭が欲しい 競技場
南千住分会 早川 隆

【厚生文化部発】8月21日(金)に支部事務所3階で共済推進委員学習会を行いました。
司会を津田副部長にお願

【国保担当発】2015(平成27)年10月からみなさんひとりひとりに

たくさん仲間の仲間が助けられていると感じました。そして今年の10月から若年者講習共済として34歳以下の方に東京土建技術センターで開催の講習を修了した場

【編集部】仲間の文芸作品を披露する場を常時設け、可能な限り紹介していきます。随時、奮って編集部へ連絡を頂き投稿下さい。尚、一回につき一人一作品掲載。



八木部長がどけん火災共済の推進を訴える

【厚生文化部発】8月21日(金)に支部事務所3階で共済推進委員学習会を行いました。
司会を津田副部長にお願

【国保担当発】2015(平成27)年10月からみなさんひとりひとりに

たくさん仲間の仲間が助けられていると感じました。そして今年の10月から若年者講習共済として34歳以下の方に東京土建技術センターで開催の講習を修了した場

【編集部】仲間の文芸作品を披露する場を常時設け、可能な限り紹介していきます。随時、奮って編集部へ連絡を頂き投稿下さい。尚、一回につき一人一作品掲載。



ひとくち映画情報

『しあわせへのまわり道』

イサベル・コイシエ監督



© 2015, BPG Releasing, LLC. All Rights Reserved.

ニューヨークを舞台に、順風満帆の生活から悲しみのどん底に突き落とされた女性が、宗教も文化も異なるタクシードライバーとの交流を通して、新たな人生を再出発させる物語。「回りの先いきっと幸せがある」という作品のメッセージが心を温かくする。夫から突然別れを告げられた売れっ子書評家のウェンディ（パトリシア・クラークソン）。自分で車の運転

エビスヤ

昔ながらの風合いが懐かしい

数々のトタン製品を作り続けて

東京下町にある小さな町工場です。そこで職人がコツコツとトタンの米びつやジョーロなどを作り続けております。トタンとは鉄板に亜鉛メッキを施したもので、それを裁断し、手作業で曲げハンダで溶接します。

△を作っている会社です。法人化してから58年を迎えて、缶製品を作り続けている。株式会社エビスヤ2代目社長の山岸健一さん(57歳)を訪ね、お話を聞きました。

といわれるようにいうように心は高く身は低くいつも笑顔で真心こめて『が目に入る。笑顔で迎えてくれた社長の山岸健一さんから缶のエ



二代目社長が壁型サンプルとお出迎え

明治通り「荒川三丁目信号」を荒川中央通りに入り、進むと左側に「缶エビスヤ」の看板二つが目に入る。手前の電柱広告の「エビスヤさんここ」が目にとまり、会社に入る時には「缶のエビスヤ」さんが頭の中に入っている。事務所に入ると、皆さんが元気に挨拶をしてくれました。事務所に入ると社訓が貼ってあり「ありがとう」



エビスヤの看板が目に入る

ピスヤさんについて伺った。戦前から現在の会長である山岸富二さん(84歳)は、再生びんの販売を目的としての仕事に携わり、戦後の昭和21年にいち早く再興し、再生びんの販売を再開した。そして、ブリキ再生缶の販売にも着手した。その後、再生びんから手を引き、希望のあるブリキ缶に的を絞る、事業を進めていった。

昭和32年10月に有限会社エビスヤを法人設立し、多種の業務用既成缶の製造及び販売を開始した。そして、常時在庫並びに即納体制の基礎を作った。昭和48年に町屋に社宅を新築、従業員の福利厚生及び雇用の促進に寄与する。昭和52年に株式会社組織変更した。

常に製品開発に取り組む

本社敷地内に第一倉庫や、事務所、食堂及び社員

どこか懐かしくどこか新鮮なブリキ製品

現在の社長である山岸健一さんは昭和56年に明治大学を卒業して、神田にある



不二家の商品も作っている

会計事務所です。4年間学び、エビスヤに入社しました。メインの業務用既成缶も時代の流れの中で、頭打ちとなっていた状況で、父の富二社長より「若い感覚で新

仲間の横顔



渡辺一幸さん (日暮里1分会) ◆12



今回の取材は居酒屋で一杯飲みながら渡辺一幸さんにお話を聞きました

しい製品に挑戦をして、自分で責任を持ってやってみろ」と言われ、缶づくりのノウハウを活かした製品づくりをまとめた。昭和60年代には、雑貨ルート向けに無地缶を市場に出した。特に、昔ながらの米びつやジョーロ、バケツなどのトタン製品は、レトロブームの追い風により、幅広い年齢層の人気を得て、売り上げを伸ばした。その売り上げは、業務用

既製品缶の落ち込みの部分を支え、新たな基盤を作り上げていった。平成4年に経営の基礎を築いた富二社長が退任し、二代目社長の山岸健一さんへ変わった。先代からの伝統である、お客様本位の堅実経営に加え、社員共々、若い感性を取り入れたアグレッシブな企画開発により、幅広い業種のお客様のニーズに対応している。荒川の物作り企業と言えるでしょう。

私は、渡辺さんが自慢話や人の悪口を言っているのを聞いたことがありません。ポツリポツリと自分の話をする渡辺さんほどとても好印象でした。渡辺さんは平成9年に組合に加入し、現在、日暮里1分会の労働対策部長をされています。「私の仕事は大工です。父も大工で初めは父の会社で修業し独立しました。あと、樫工務店で型枠大工をしていたこともあります。好きなことと言えば神輿を担ぐことです。地元の祭りではよく神輿を担いでいます。組合に入っていて助かったことは、4年前に糖尿病で入院した時、土建国保に加入していたので入院費があまりからなかったことです。」

取材 堀井龍二 日暮里1分会